

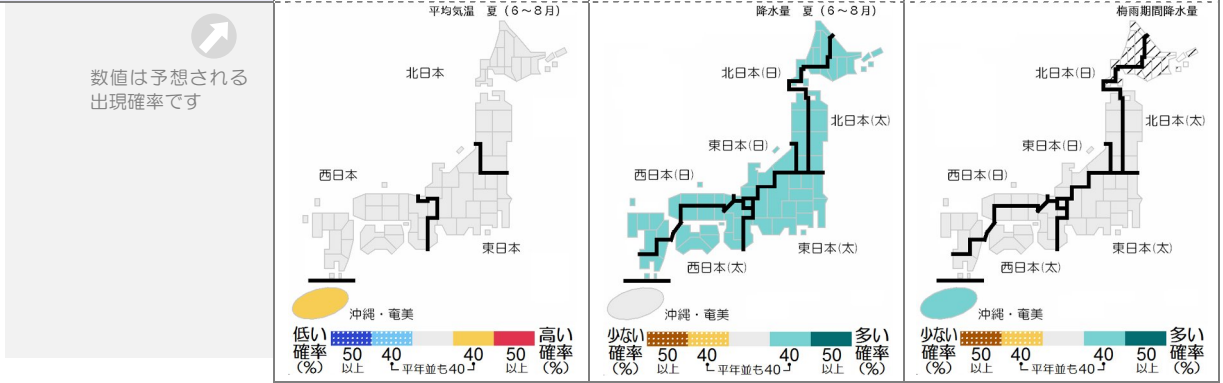
# 夏の天候の見通し 6～8月

## 予報のポイント

- 北・東・西日本では、太平洋高気圧の張り出しが弱く、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。前線や湿った空気の影響を受けやすいため、夏の降水量は平年並か多い見込みです。夏の気温はほぼ平年並でしょう。
- 沖縄・奄美では、梅雨の時期は、平年に比べ曇りや雨の日が多い見込みですが、その後は、太平洋高気圧に覆われやすく、平年と同様に晴れの日が多くなるでしょう。梅雨の時期の降水量は平年並か多く、夏の気温は平年並か高い見込みです。

## 夏（6～8月）の平均気温・降水量

		平均気温 夏（6～8月）	降水量 夏（6～8月）	降水量 梅雨の時期※
北日本	日本海側	低 40 並 30 高 30% ほぼ平年並の見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い見込み	少 30 並 30 多 40% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少 20 並 40 多 40% 平年並か多い見込み	少 30 並 30 多 40% ほぼ平年並の見込み
東日本	日本海側	低 30 並 40 高 30% ほぼ平年並の見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い見込み	少 30 並 30 多 40% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少 20 並 40 多 40% 平年並か多い見込み	少 30 並 30 多 40% ほぼ平年並の見込み
西日本	日本海側	低 30 並 40 高 30% ほぼ平年並の見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い見込み	少 30 並 30 多 40% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少 20 並 40 多 40% 平年並か多い見込み	少 30 並 30 多 40% ほぼ平年並の見込み
沖縄・奄美		低 20 並 40 高 40% 平年並か高い見込み	少 30 並 30 多 40% ほぼ平年並の見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い見込み

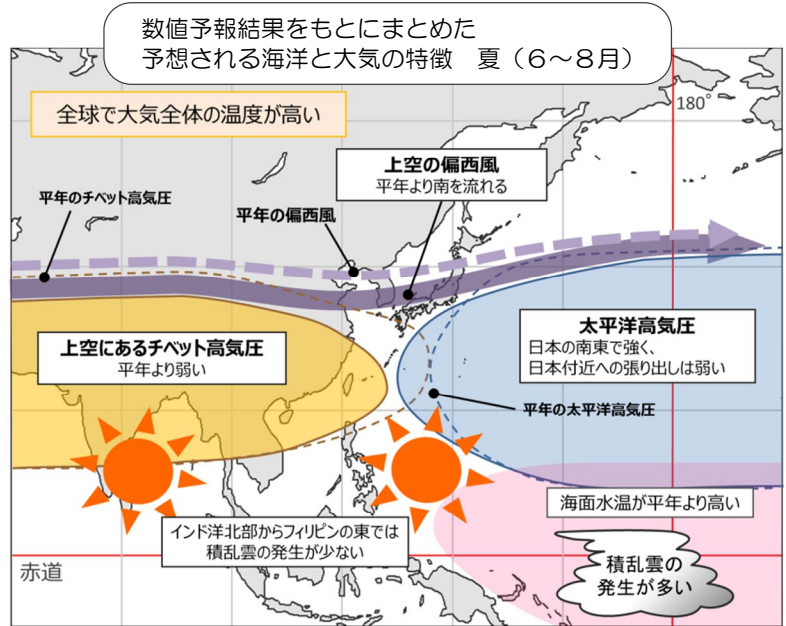


※梅雨の時期・・・北・東・西日本では6～7月、沖縄・奄美では5～6月

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。  
確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「参考データ（確率予報の解説）」をご覧ください。

## 予想される海洋と大気の特徴

- 地球温暖化の影響等により、全球で大気全体の温度が高いくでしょう。
- エルニーニョ現象が続き、ニューギニアの東～太平洋東部では海面水温が平年より高く、積乱雲の発生が多い見込みです。一方、インド洋北部～フィリピンの東では、積乱雲の発生が少ないでしょう。
- 上空にあるチベット高気圧は弱く、偏西風は大陸から日本付近で平年より南を流れる見込みです。
- 太平洋高気圧は日本の南東で強く、日本付近への張り出しは弱いでしょう。このため、日本付近には太平洋高気圧の縁を回って湿った空気が流れ込みやすい見込みです。



## 最近 10 年間の夏の特徴

年	夏の平均気温 平年差℃（階級）				夏の天候の特徴
	北日本	東日本	西日本	沖縄・奄美	
2009	-0.4 (○)	-0.2 (-)	-0.1 (○)	+0.2 (+)	平成 21 年 7 月中国・九州北部豪雨 中国・北陸・東北梅雨明け不明瞭
2010	+2.2 (++)	+1.5 (++)	+0.8 (+)	+0.1 (○)	北・東は第 1 位の高温（当時） 7 月中旬に九州北部などで豪雨被害
2011	+1.0 (+)	+0.9 (+)	+0.5 (+)	+0.3 (+)	平成 23 年 7 月新潟・福島豪雨 台風第 12 号で紀伊半島を中心に大雨
2012	+0.7 (+)	+0.6 (+)	+0.4 (+)	+0.1 (○)	平成 24 年 7 月九州北部豪雨 西日本と沖縄・奄美で多雨・日照不足
2013	+1.0 (+)	+1.1 (++)	+1.2 (++)	+0.7 (++)	秋田県・岩手県・島根県・山口県で豪雨被害 東日本太平洋側と沖縄・奄美で少雨 国内最高気温記録更新（当時）
2014	+1.2 (+)	+0.5 (+)	-0.3 (-)	+0.3 (+)	平成 26 年 8 月豪雨 8 月はほぼ全国的に多雨
2015	+0.6 (+)	+0.3 (○)	-0.5 (-)	+0.6 (++)	西日本で低温・多雨・日照不足 北日本と沖縄・奄美は高温
2016	+0.7 (+)	+0.6 (+)	+0.7 (+)	+1.1 (++)	全国的に高温・多照 北日本太平洋側は記録的な多雨
2017	+0.3 (○)	+0.6 (+)	+0.7 (+)	+0.7 (++)	沖縄・奄美を中心に東日本以西は高温 平成 29 年 7 月九州北部豪雨 8 月は北・東日本太平洋側で天候不順
2018	+0.6 (+)	+1.7 (++)	+1.1 (++)	0.0 (○)	平成 30 年 7 月豪雨により西日本を中心に記録的な大雨 東・西日本で記録的な高温

階級 --：かなり低い -：低い ○：平年並 +：高い ++：かなり高い

## 参考データ

### ● 平年並の範囲

		平均気温 夏(6~8月)	降水量 夏(6~8月)	降水量 梅雨の時期※
北日本	日本海側	平年差：-0.4~+0.3℃	平年比：90~110%	平年比：90~110%
	太平洋側		平年比：92~106%	平年比：92~108%
東日本	日本海側	平年差：-0.1~+0.3℃	平年比：87~116%	平年比：85~117%
	太平洋側		平年比：88~106%	平年比：94~108%
西日本	日本海側	平年差：-0.2~+0.3℃	平年比：92~105%	平年比：92~114%
	太平洋側		平年比：88~107%	平年比：86~104%
沖縄・奄美		平年差：-0.1~+0.1℃	平年比：91~110%	平年比：86~108%

※梅雨の時期・・・北・東・西日本では6~7月、沖縄・奄美では5~6月

「平年並」の範囲は、同時期の過去30年間(1981-2010年)の値から統計的に求めています。30年間のデータの中で「高い(多い)」「平年並」「低い(少ない)」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30年間の30個のデータのうち、値が高い(多い)方から11~20番目となる10個のデータの値の範囲を、おおそ「平年並」の範囲としています。

### ● 晴れ日数と降水日数の平年値

	6月		7月		8月	
	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数
札幌	15.1日	6.5日	13.0日	8.0日	15.4日	8.5日
仙台	11.3日	10.7日	9.7日	13.5日	13.2日	10.6日
新潟	14.3日	10.1日	14.2日	12.1日	20.0日	8.5日
東京	10.7日	11.4日	12.1日	10.3日	16.4日	7.7日
名古屋	12.6日	11.7日	14.2日	12.2日	19.0日	7.7日
大阪	13.7日	11.2日	16.5日	9.9日	21.7日	6.9日
広島	14.3日	10.7日	15.9日	10.1日	20.4日	6.8日
高松	14.6日	10.3日	17.7日	9.4日	21.9日	6.8日
福岡	13.1日	11.2日	15.7日	10.6日	19.7日	8.9日
鹿児島	10.7日	14.6日	17.9日	11.2日	20.5日	10.5日
那覇	15.3日	10.6日	24.1日	8.8日	22.4日	11.8日

「晴れ日数」は「日照時間が可照時間の40%以上」の日数であり、「降水日数」は「日降水量1mm以上」の日数です。この2つは同じ日に起こることがあるため、「晴れ日数」と「降水日数」の両方に数えられる日もあります。

### ● 確率予報の解説 (ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています)

出現確率 (低い(少ない)：平年並：高い(多い))	解説
高い(多い) 確率が50%以上	高い(多い) 見込み
(20 : 40 : 40)	平年並か高い(多い) 見込み
平年並の確率が50%以上	平年並の見込み
(40 : 30 : 30) (30 : 40 : 30) (30 : 30 : 40)	ほぼ平年並の見込み
(40 : 40 : 20)	平年並か低い(少ない) 見込み
低い(少ない) 確率が50%以上	低い(少ない) 見込み